

キャラクター名
ローレリア・I・アーゼンテ

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	居酒屋店員
	パロール					
オプション			年齢	26	性別	女
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %	
出自	複数の兄妹姉妹がいる	経験	盟友	邂逅	同行者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	2	1	0			3	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	2		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
シールドクリエイト	白兵	1r	16			
	白兵	1r	18			
	白兵	1r	20			
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
デモンズシード	
情報収集チーム	
思い出の一品	
ウェポンケース	
カジュアル	
携帯電話	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス: 砂使い	P 有為	NO劣等感		
兄妹姉妹	P 純愛	NO無関心		
夜咲瑠衣	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
孤独の魔眼	2	4	オート	視界	効果	自動		
効果: 範囲or範囲(選択)を単体にし、自身に変更								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 判定を自動失敗させる								
虚無の城壁	3	2	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: R中自身のガード値+[LV*3]								
斥力障壁	2	2	オート	視界	単体	自動		
効果: 対象の受けるダメージ-[1d10+LV*3]								
シールドクリエイト	6	3+1	マイナ	至近	自身	自動		
効果: 武器作成								
物質合成	1	5	Xジャー	至近	自身	自動	100%	
効果: 選択したアイテムの命中、攻撃力、ドッジ、行動、装甲値、G値、効果を合計したアイテム取得								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	MP/1	
効果: カバーリングを行う								
砂塵の城壁	1	1d10	オート	視界	単体	自動	D0イ	
効果: 対象の受けるダメージ0、自身は10-LV点のHPを失う。シナリオ1回								
ダブルクリエイト	1	3	マイナ	至近	自身	自動		
効果: シールドクリエイトで作る盾を二つに変更								
帝王の時間	★		Xジャー	至近	自身	自動		
効果: 仕事に使うよ								
万能器具	★		Xジャー	至近	自身	自動		
効果: 何でも作れるよ								
ポケットディメンジョン	★		Xジャー	至近	効果	自動		
効果: 追加増築だね								
効果:								

「ローレリア・イザヤ・アーゼンテ…長いよねー、適当に口ロでもイザヤでもアーゼンテでも好きに呼んでねー」「うーん、書類多いなあ…仕入れはできてるけど、今日ちゃんと時間通りにお店開けるかなあ…」

五重市UGN支部の支部長を務める女性。怠惰でダラダラしてるが立派な社畜の一人。生粋のオーヴァード。幼い頃に家から追い出された際、孤児院のような所に拾われ、匿われて育った。名前はそこにいた時につけられたもの。十数年前程前のある襲撃を受け、他にいた兄妹とはバラバラになってしまったが信用故か本人はそこまで気にしていない模様。その後、UGNに入り数年前から支部長に任命され今に至る。何故か配属先の支部が居酒屋の体をしてたためそのまま居酒屋として利用することにした。

パロールとモルフェウスのクロスブリード。盾を創造し、足りない分は重力操作で補うガード型。どうしても武器の創造ができないのがコンプレックス。『出来損ない』の言葉が彼女の唯一にして最大の恐怖。